

【※水難事故事案多発 WAVE の皆さまにお願い】

自助はできていますか？

- ・気象海象のチェックの甘さは命取りになります。
- ・道具のチェック
- ・体調管理・運動能力・技術レベル

命を守るための行動ができますか？自己責任で済まないこともあります

自力で帰れる所以上に行かないでください

WAVE では、リグをたたみパドルリングで自力で帰れる以上のところへは行かないのは鉄則

ショップやスクールの救助艇の出せる体制が整っている場所ばかりではありません

公務救難機関へ救助要請がなされた、救難機関が出動した時点で要救助者となります、

救助隊が動いた時点で何事も無くても、水難事故事案の1件となります。

よく、「自力で帰れた」という人が多いです、他から見て流されていると思われ、救助要請が出た時点であなたは遭難者及び要救助者と判断されます、自己責任で済んでいますか？

沢山の方が救助に出向く事になってしまいます!! 仲間内での救助には限界があります、

また、公務機関に救助を呼べば、必ず助かるというものではないのが、水難事故です。

しっかりと確認し自分のスキル体力、周りの環境を確認してください。

但し、これは、やばい命にも関わると思われる状況に遭遇した場合は即座に

119と118の両方に電話し、要救助者の位置を確認し続け居場所を見失わないよう見張りをお願い致します、海で一度見えなくなると見つからなくなることが多いです。

【命が一番大事】 仲間内で対応できない場合は躊躇せず要請をかけるべきです。

救助は多くの目が必要となります。浮いていられない WAVE のギアでは風が落ちたら

帰還不能に陥る事が多く、道具も高価で放棄できず、パドルで帰れない場合も多いです

沖合に行かずに乗る、風上側で乗る日没近くまで乗らない事が命を守る行動に繋がります。

ゲレンデによって違う注意点もあるので、ご注意願います。

これから本格的な冬の季節風での WAVE シーズンの到来です。安全第一で楽しみましょう。

【※伊豆レフトポイントでライドする Waver の皆さまにお願い】

暴風に近い強風は朝早くに収まってしまい、そのあとはアップダウンがハゲしく散らかった風と波に皆さま苦戦しつつも、昼くらいまでは、まあ楽しくライドしました。今日は、台風に加えて天気図上には表れない低気圧でも重なったのか、まったく風が安定しないコンディション。

塊的に吹いたかと思えば、沖でもパタッとなくなる、チョット難しいコンディションでした。そんな中で、“風下オチ”からのリカバリーに失敗して、かなりの風下から沖に再エントリーしようとしたライダーが、風下側の岸壁前の“ハネ返りの無風地帯”に運ばれ、岸壁離れの岩に避難漂着。自力で帰着できずにレスキュー出動という事案が発生しました。再発防止のために、伊豆のレフトポイントでライドする Waver の皆さまに注意喚起のお願いです。

これまでの経験から、“だいたいの目安と注意点”をマップに記しましたが、神社前からエントリーして、風下の観光協会駐車場で打ちあがった時点で、すでに大きくミスっています。観光協会駐車場の目の前くらいであれば、風が安定していて波がマイルドなコンディションなら、スキル次第では風上に戻れますが、風が安定しない日、波のサイズがある日は、このエリアでも、なるべくビーチを運んで風上から再エントリーした方が無難です。観光協会駐車場の風下に、小さな河口があり、ココは強い沖出しが出ている日も少なくありません。そして、風下側は岸壁に近くなるほど、左からの北東風が岸壁でハネ返されて、より不安定になります。観光協会駐車場の河口より風下からのエントリーは、「NG」と考えるべきです。

観光協会の風下の河口は“三途の川”として、渡るべからず、ということですね！



【※鳥取西部ポイントでライドする WAYER の皆さまにお願い】

鳥取西部のサイドオフでダウンザラインできるリーフポイントで朝 6 時 30 分頃から顔見知りのメンバー 3 人で乗り始めました。予報では風は昼からおちるようになっていました。5.0 で乗り出してから 1 時間弱でかぜが落ちてきて、自分ともう 1 人は早めに上がって来ましたが 1 名は風下で乗っていたため、サイドオフで潮流も速く上りが取れず無風で帰られなくなりました。1 時間以上セイルアップしていましたがサイドオフの風でアウトのうねりもかなり大きかったので無理だと判断して海保に連絡しました。乗っている場所が境港の海保から近く、岸からも双眼鏡で確認できていたので海保到着してまもなくレスキューされました。救助された方は、約 1 時間半後に県の防災ヘリで救助され、けがはありませんでした。

天気は曇りで風が安定していない事は想像出来ていたので風上で乗っていれば自力で帰ることが出来たと思います。サイドオフ、リーフという特殊な環境なのでこのポイントで乗る方に注意喚起していきたいと思います。

↓ 救助事案となると本人は知らぬ間に、このような状況となります。

